

## 3 西部住区

### ① 基本的な考え方

西部住区は、現存する農地や隣接する国際基督教大学の豊かな自然環境と調和を図り、良好な低層住宅地のまちづくりを基本とするとともに、それらの周辺環境を活かした生活風景・景観づくりの推進を図ります。

東八道路西部エリアにおける活性化の拠点整備においては、住環境と調和した沿道への商業施設立地を誘導するとともに、農地、雑木林など緑の保全にも努めます。

主要幹線道路の整備として、都市計画道路3・2・6号（調布保谷線）の整備の促進を図るとともに、地域の状況に配慮し沿線のまちづくりを検討します。また、生活道路の整備のほか、沿道緑化の推進などにより、良好な住環境の創出に努めます。

また、井口特設グラウンドの土地利用転換を図る際には、周辺環境との調和や良好な住環境の確保に向け、地区計画制度等を活用するなど、周辺のまちづくりを含めて検討を進めます。

### ② 主な事業の方向

- 1 井口コミュニティ・センターの耐震化を図り、防災拠点化を推進するとともに、にしみたか学園第二小学校の耐震補強工事を実施します。
- 2 バリアフリーのまちづくり基本構想 2022 の重点整備路線である都道（連雀通り、人見街道）については、安全で快適な歩行者空間が整備されるよう、東京都に要請します。また、人見街道のけやき並木の保存に努めます。
- 3 都市計画道路3・2・6号（調布保谷線）については、「環境に配慮した質の高い道路づくり」という考え方にに基づき、環境施設帯整備検討協議会により、沿道住民や地域住民の意見を聴きながら道づくりを進めてきました。調布保谷線の整備により、防災の強化、生活の向上、環境の改善等の効果があることから、早期完成を東京都に要請します。
- 4 農地の活用や開発行為による誘導等により、東西道路の整備や通り抜け可能な生活道路を設置して、幹線道路への連結が可能な道路配置を行います。
- 5 緑と水の回遊ルート整備の地域内ルートである小・中学校やコミュニティ・センターなど公共施設を結ぶ散歩道の整備を進めます。



井口農地(三鷹風景百選)

